

IEEE1394 CD-R/RW UNIT

LCW-P1210BF

CD-R/RWユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	6
第 1 章 製品のご紹介	7
1 . 1 製品の概要	7
1 . 2 各部の名称	9
第 2 章 接続とインストール	11
2 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート	11
2 . 2 ライティング・ソフトウェアのインストール	12
2 . 3 接続の手順	13
第 3 章 使用について	16
3 . 1 接続とソフトウェア起動の順序	16
3 . 2 メディアのセット/取り出しについて	17
3 . 3 本製品を取り外す場合は	19
第 4 章 補足事項	21
4 . 1 トラブルシューティング	21
4 . 2 使用環境について	23
4 . 2 . 1 パソコン本体	23
4 . 2 . 2 対応 OS	24
4 . 2 . 3 IEEE1394 インターフェース	24
4 . 2 . 4 CD-R/RW メディア	25
4 . 2 . 5 ハードディスク	26
4 . 3 IEEE1394 機器の増設について	27
4 . 4 その他	29
ハードウェア仕様	30

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

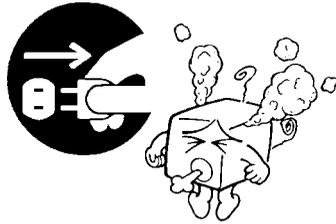


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

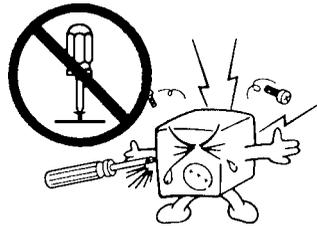
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

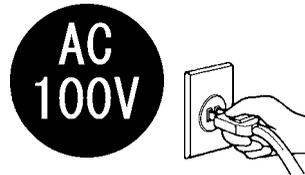
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で

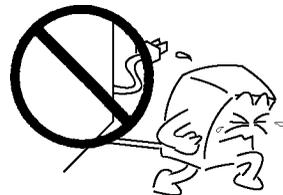
使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



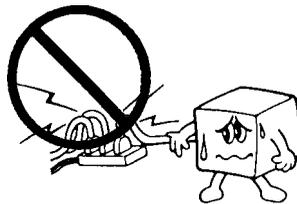
電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

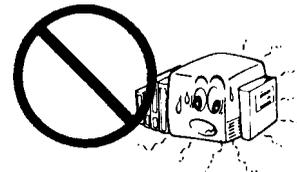
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



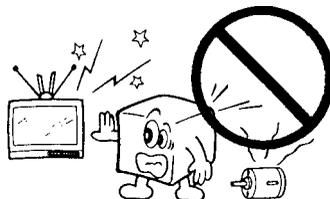
高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



⚠ 注意

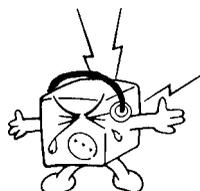
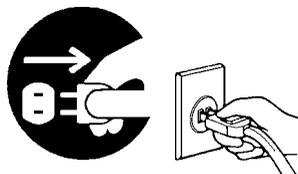
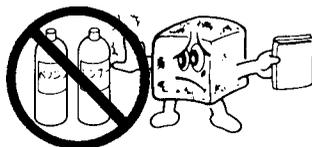
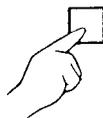
電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。

本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。

本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。

1・2・3・4・5



ごあいさつ

この度は弊社 CD-R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は CD-R/RW ユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 CD-R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft社の米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh®, Mac OS®, FireWireはアップルコンピュータ社の登録商標です。i.LINKはソニー株式会社の商標です。Pentium®, Celeron®は米国Intel社の登録商標です。WinCDR、MacCDRは株式会社アップリックスの商標です。BURN-Proof™は三洋電機株式会社の商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

付属品の確認

CD-R/RWユニット	1台
CD-RWメディア	1枚
IEEE1394ケーブル(6ピン 6ピン)	1本
IEEE1394ケーブル(6ピン 4ピン)	1本
ライティング・ソフトウェア	
WinCDR	一式
MacCDR	一式
「LogitechWare」CD-ROM	1枚
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
CD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

「LogitechWare」CD-ROMは、弊社製品のドライバやユーティリティを保存したCD-ROMです。本製品を使用する上で必須ではありませんが、CD TEXT 対応のCDプレーヤなど本製品で使用できるユーティリティもありますので、Windows環境でご使用の方は必要に応じてインストールしてください

第1章 製品のご紹介

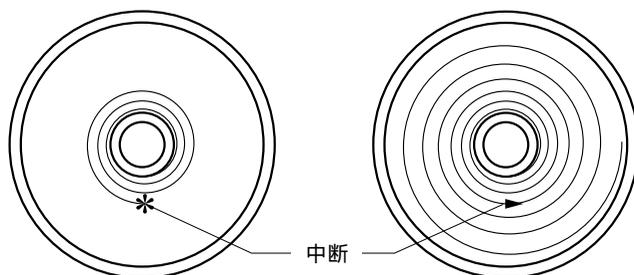
1.1 製品の概要

本製品はIEEE1394対応のBURN-Proof機能付きCD-R/RWユニットです。

1

本製品の特徴

BURN-Proof機能を搭載しています。BURN-Proof機能は、CD-R/RWメディアへの書き込み時に発生するバッファ・アンダーラン・エラー（書き込みにデータ転送が間に合わないエラー）を回避する機能です。本製品は書き込み中にデータ転送が間に合わなくなると、自動的に現在の書き込み位置を記憶して、データ転送を待ちます。書き込みが再開可能になると、中断した位置へ正確に移動して、継ぎ目のない追記が行われます。そのため書き込みの結果は、中断がなかった場合とまったく同一になります。



普通のCD-R/RWユニット
書き込みが中断されると、その位置に正確に戻ることができないため、エラーとなります。

BURN-Proof機能付きの場合
書き込みが中断されても、その位置に正確に戻って、再開することが可能です。

インターフェースとして採用しているIEEE1394は、最大データ転送速度400Mbps（理論値）を誇る高速インターフェースです。また、ターミネータやIDナンバーの設定が不要ですので、手軽に接続することができます。

本製品のようなIEEE1394機器はホットプラグをサポートしていますが、パソコン本体の電源がONになっている状態でも接続/取り外しを行うことができます。



参考

IEEE1394はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがあります。すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

ISO9660、Audio CD、HFS (Macintosh 接続時のみ) など、様々なフォーマット形式をサポートしています。(フォーマット形式の詳細については、付属ライティング・ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。)

BURN-Proof機能により安定した書き込みが可能であるため、書き込み速度が非常に高速です。使用可能な書き込み/読み込み速度は以下の通りです。(データ転送速度 150KB/s を標準速としての倍率)

書き込み	CD-R	12倍速、8倍速、4倍速、標準速
	CD-RW	10倍速、8倍速、4倍速、2倍速
読み込み		最大32倍速(*1)

*1 CD-RW メディアの読み込みは最大24倍速に制限されます。



ご注意

- ・CD-R/RW メディアに書き込みを行う場合は、ライティング・ソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-R/RW メディアをご使用ください。
- ・Macintosh シリーズに接続した場合、本製品でCD-ROMの読み込みを行うことはできません。
- ・本製品はBURN-Proof機能を持っていますが、品質の悪いCD-R/RWメディアなどを使用すると、エラーが発生することには変わりありません。そのため、本製品を正しい使用環境で使用することは重要です。本製品の使用環境については、第4章「4.2 使用環境について」をご参照ください。

「Disc at once」方式、「Track at once」方式、「Session at once」方式、「Packet Write」方式の書き込みに対応しています。

「Disc at once」方式は、量産 CD-ROM のプレマスタ作成を行う場合などに使用される方式です。

「Track at once」方式は、追記書き込みを可能にする方式です。

「Session at once」方式は、付属ライティング・ソフトウェアで「Enhanced CD」のバックアップを行う場合などに使用される方式です。

「Packet Write」方式は、擬似的なランダムアクセス書き込みを可能にする方式です。

1.2 各部の名称

本製品背面

IEEE1394 コネクタ 1

IEEE1394 コネクタ 2

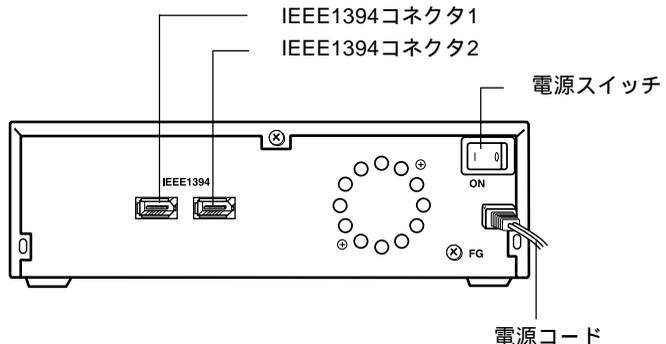
パソコン本体、増設 IEEE1394 機器と接続します。この 2 つのコネクタはまったく同じ機能を持っていますので、どちらをパソコン本体との接続に使用してもかまいません。

電源スイッチ

CD-R/RW ユニットの電源を ON/OFF します。

電源コード

AC100V のコンセントに接続します。



本製品前面

トレイ

CD-R/RWメディアをセットする部分です。セット方法は「3.2 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

強制イジェクトホール

何かの原因でイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合に使用します。詳細は「3.2 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

イジェクトボタン

このボタンを押すとトレイを排出することができます。

アクセス表示ランプ

本製品に対して、アクセス（読み込み/書き込み）が行われると点灯します。

ヘッドフォン用ボリューム

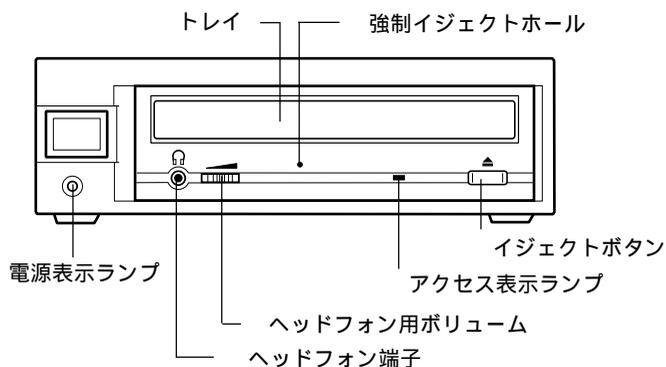
ヘッドフォン端子に接続したヘッドフォンの音量を調整します。

ヘッドフォン端子

音楽用CDをヘッドフォンで再生する場合に、ヘッドフォンのプラグを差し込みます。本製品ではステレオミニジャックを使用しています。

電源表示ランプ

本製品の電源がONの状態では緑色に点灯します。



第 2 章

接続とインストール

2 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「LogitechWare」CD-ROM に収録されています。そのため、Windows 98 Second Edition をご使用の場合、以降の作業を行う前に、CD-ROM の以下のフォルダに保存された説明ファイル「README.HTM」をご熟読の上、実行ファイル「242975JPN8.EXE」を実行してください。

保存フォルダ : ¥DRIVERS¥MICROSOFT¥1394

説明ファイル : README.HTM

実行ファイル : 242975JPN8.EXE

2 . 2 ライティング・ソフトウェアのインストール

本製品を使用するには、本製品を接続する前に付属のライティング・ソフトウェアをインストールする必要があります。

Windows 環境の場合は

ライティング・ソフトウェア「WinCDR」をインストールしてください。

Macintosh 環境の場合は

ライティング・ソフトウェア「MacCDR」をインストールしてください。

どちらの場合も、インストール手順についてはライティング・ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

ライティング・ソフトウェアのインストールが終了すると、システムが再起動されます。再起動が完了したら、2 . 2 節の手順で本製品の接続を行ってください。

Point

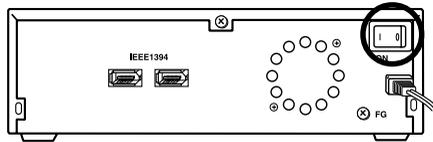
ライティング・ソフトウェアに関するお問い合わせは・・・

付属ライティング・ソフトウェアに関しては、株式会社アブリックスにお問い合わせください。(お問い合わせ先についてはライティング・ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。)

2.3 接続の手順

接続は以下の手順で行います。パソコン本体の電源がONになっている状態で接続を行ってもかまいません。

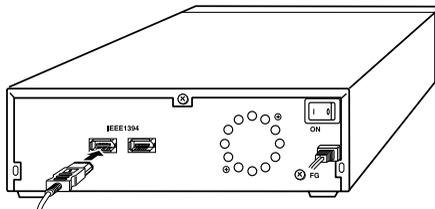
最初に本製品の電源コードをコンセントに接続して、電源をONにします。



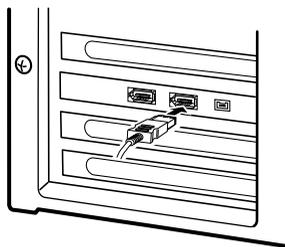
ご注意

- ・本製品を接続する際には、必ず最初に電源をONにしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。

本製品にIEEE1394ケーブルを接続します。IEEE1394コネクタは2個ありますが、どちらのコネクタを使用してもかまいません。ここで使用しないコネクタは、IEEE1394機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままでかまいません。



IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続してください。

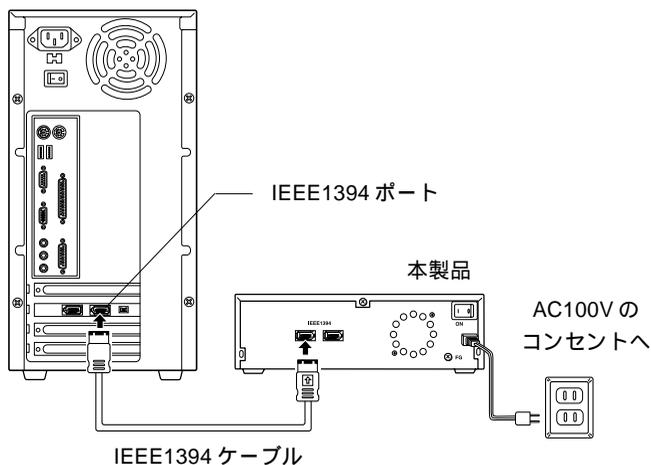


ご注意

複数の IEEE1394 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのは止めてください。トラブルの原因となります。

2

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。



ポイント

- ・IEEE1394 機器には、SCSI のようなターミネータや ID ナンバーはありません。
- ・複数の IEEE1394 機器を接続したい場合は、第 4 章の「4.3 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

接続結果の確認（Windows 環境）

接続が終了したら、デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてみてください。以下のように新しいCD-ROM ドライブのアイコンが追加されていたら、本製品は正しく認識されています。

パソコン本体内蔵の
CD-ROM ドライブ



本製品のアイコン
ドライブ名は異なる可
能性があります。

2

本製品に CD-ROM をセットして、このアイコンをダブルクリックすると、CD-ROM の読み込みを行うことができます。CD-R/RW メディアの書き込みを行う場合は、2.2 節でインストールしたライティング・ソフトウェアを起動してください。

接続結果の確認（Macintosh 環境）

Macintosh 環境では、本製品で CD-ROM の読み込みを行うことはできません。そのため、接続結果を確認したい場合は、2.2 節でインストールしたライティングソフトウェアを起動して、「設定」メニューから「レコーダの選択」を起動し、本製品が認識されていることを確認してください。

第3章 使用について

3.1 接続とソフトウェア起動の順序

本製品の接続/取り外しと、ライティングソフトウェアの起動/終了は以下の順番で行わなければなりません。

1. 本製品を接続します。
2. ライティング・ソフトウェアを起動します。

CD-R/RW の書き込み作業

3. ライティング・ソフトウェアを終了します。
4. 本製品を取り外します。

Point

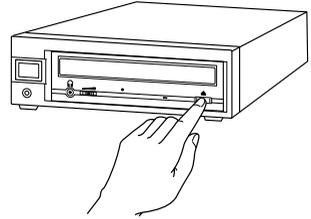
ポイント

ライティング・ソフトウェアが起動しているのに、本製品が接続されていないという状態を作ってはいけません。

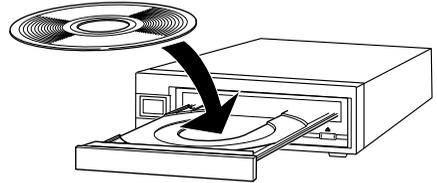
3.2 メディアのセット/取り出しについて

CD-R/RW メディアのセット方法

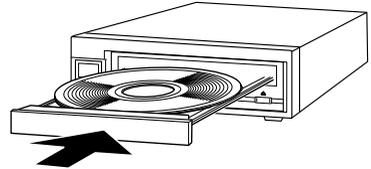
CD-R/RWメディアをセットするときは、CD-R/RW ユニットの電源が入った状態でイジェクトボタンを押してください。



トレイが排出されますので、CD-R/RW メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。



イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されCD-R/RW メディアがセットされます。



CD-R/RW メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出してください。



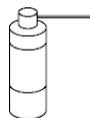
ご注意

CD-R/RW メディアをセットしたまま CD-R/RW ユニットを移動すると、CD-R/RW メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、CD-R/RW ユニットの電源を切るときには CD-R/RW メディアがセットされていないことを確認してください。



ご注意

- ・CD-R/RWメディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。CD-R/RWメディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、CD-R/RWメディアとトレイの清掃を行ってください。



ダストクリーナー

- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

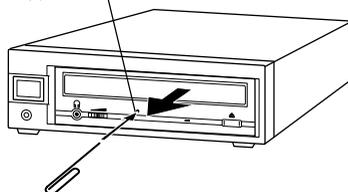
CD-R/RWメディアが取り出せなくなった場合

何かの原因でCD-R/RWユニットのイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まずCD-R/RWユニットのアクセス表示ランプが点灯していないかをチェックしてください。点灯していない場合には、一度IEEE1394ケーブルをパソコン本体から外し、CD-R/RWユニットの電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制排出することができます。これを行なうときには、必ず電源をOFFにしてください。

大き目のクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押してください。

強制イジェクトホール



トレイが若干排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

電源がONの状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。

3.3 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・ライティング・ソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはライティング・ソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・本製品や併用しているIEEE1394機器のアクセス中に、取り外してはいけません。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・Windows環境では取り外しの際にアンプラグと呼ばれる操作を行わなければなりません。下の手順をご参照ください。(Windows 98 Second Editionの場合、アンプラグを行うにはIEEE1394ドライバのアップデートが必要です。)

アンプラグの手順

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。(ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。次ページを参照してください。)

Windows 2000の例 この項目をクリック



このアイコンをクリック

3.3 本製品を取り外す場合は

Windows Me の場合

「IEEE1394 CD-ROM - ドライブ(d:)の停止」

Windows 98 Second Edition の場合

「STOP 1394/USB CD-ROM - Drive(d:)」

Windows 2000 の場合

「LOGITEC LCW-F IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ(d:)を停止
します」

Point

ポイント

いずれの場合も「d:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

3

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。OK ボタンをクリックしてください。

Windows 2000 の例



OK ボタンをクリック

Point

ポイント

このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。

IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品がCD-ROMドライブとして認識されない。

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

IEEE1394 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用 OS のバージョンに問題はありますか？

本製品を IEEE1394 ハブ経由で接続している場合は、パソコン (IEEE1394 インターフェイスボード) の IEEE1394 ポートに直接接続して試してみてください。

多くの IEEE1394 機器を接続している場合、ケーブル長の制限、台数の制限を超えていないかどうか確認してください。また、接続にループが発生していないかどうかを確認してください。これらの制限等については「4.3 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

Macintosh シリーズでは、本製品で CD-ROM の読み込みを行うことはできません。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

ライティング・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しましたか？ 本製品は必ずライティング・ソフトウェアを起動する前に接続してください。

ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能は OFF にしてご使用ください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

「3.2 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

CD-R/RWメディアの書き込み時にエラーが発生する。

メディアやトレイが汚れていませんか？ 市販のダストクリーナなどで清掃を行ってみてください。

CD-R/RWメディアが不良である可能性があります。メディアを変えて試してみてください。推奨メディアについては、「4.2 使用環境について」をご参照ください。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合、IEEE1394 ドライバのアップデートは行いましたか？

その他：ホームページについて

弊社、および株式会社アプリックスではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/index.html>

4.2 使用環境について

本製品はBURN-Proof機能を持っていますが、品質の悪いCD-R/RWメディアを使用するとエラーが発生することには変わりはありません。

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、CD-R/RWメディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

4.2.1 パソコン本体

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべてIEEE1394ポートを搭載した機種、もしくは弊社IEEE1394インターフェースボードを接続可能な機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	
	iMac DV シリーズ
	Power Macintosh G3 (Blue and White) シリーズ
	Power Mac G4 シリーズ
	PowerBook (FireWire) シリーズ



ご注意

- ・すべての機種で動作確認するのは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることはご承知おきください。
 - ・DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズの場合は、Celeron 266MHz以上のCPUを搭載している機種に限定されます。
 - ・Macintosh シリーズの場合は、IEEE1394ポートを標準搭載している機種に限定されます。
-

4.2.2 対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社
Windows Me
Windows 98 Second Edition
Windows 2000

アップルコンピュータ社
Mac OS 9.0 ~ Mac OS 9.0.4 (FireWire 2.3.3 以降)



ご注意

- ・本製品を Windows 95、Second Edition でない Windows 98、Windows NT 4.0 などで使用することはできません。
- ・Windows 98 Second Edition の場合は、IEEE1394 ドライバのアップデートが必要です。詳細については、第 2 章「2.1 IEEE1394 ドライバのアップデート」をご参照ください。
- ・Mac OS 9.0 の場合は、FireWire 2.3.3 を導入する必要があります。

4.2.3 IEEE1394 インターフェース

IEEE1394 ポートを内蔵していないパソコンでは、IEEE1394 インターフェースボードが別途必要になります。IEEE1394 インターフェースボードは、弊社から発売されている以下の型番のものを推奨します。

PCI バス用 IEEE1394 インターフェースボード

	バス	備考
LHA-1394	PCI	インターフェースボード単体
LVC-MG2		ビデオ活用キット

CardBus 対応 IEEE1394 インターフェースカード

	バス	備考
LPM-CB1394	CardBus	インターフェースボード単体
LVC-MG2/CB		ビデオ活用キット

4 . 2 . 4 CD-R/RW メディア

本製品でCD-Rメディアの書き込みを行う場合は、弊社または以下の各社から発売されているCD-Rメディアをご使用ください。これ以外のCD-Rメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

ロジテック株式会社 LCW-74MG (74分メディア10枚セット)

太陽誘電(株)「That's シリーズ」 三菱化学(株) TDK (株)
 富士写真フイルム(株) 三井化学(株) (株)リコー
 日立マクセル(株)

本製品でCD-RWメディアの書き込みを行う場合は、以下の各社から発売されているCD-RWメディアをご使用ください。これ以外のCD-RWメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)



ご注意

CD-R/RWメディアに書き込みを行う場合は、ライティング・ソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-R/RWメディアをご使用ください。

4.2.5 ハードディスク

CD-R/RWメディアへの書きこみ時には、ワークファイルの保存や、ISO 9660 イメージデータの展開のためにハードディスクを必要とします。

ご使用のハードディスクが、以下の仕様を満足していることをご確認ください。

空き容量：	800MB 以上
平均シークタイム：	13ms 以下
インターフェース：	FastSCSI/UltraSCSI、ATA (E-IDE)

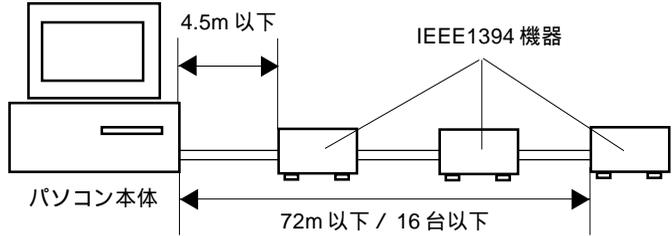


ご注意

IEEE1394インターフェースに接続するタイプのハードディスクは、上記の用途に使用できません。

4.3 IEEE1394 機器の増設について

本製品のように IEEE1394 コネクタを 2 個装備している IEEE1394 機器は数珠つなぎ（デジチェーン型）に増設することができます。



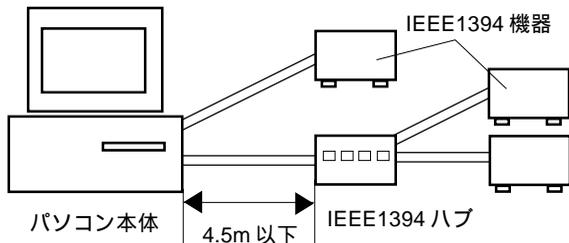
このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。



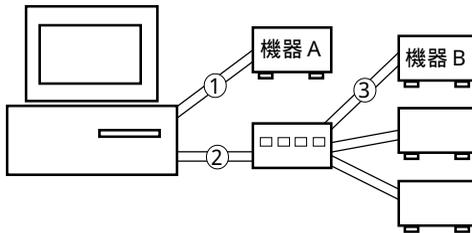
ご注意

デジチェーン型に増設する場合、ホットプラグ（電源 ON 状態での取り外し）を行う機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

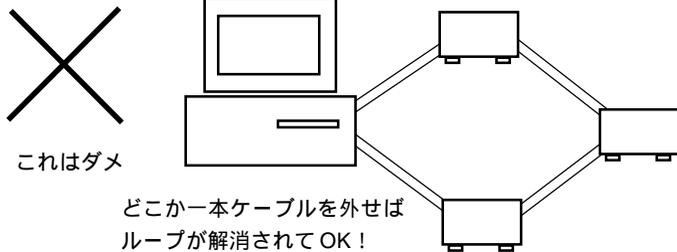
IEEE1394 コネクタを複数装備したインターフェイスボードや、IEEE 1394 ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A: ~ Z: でシステムが使用していないもの）に制限されます。



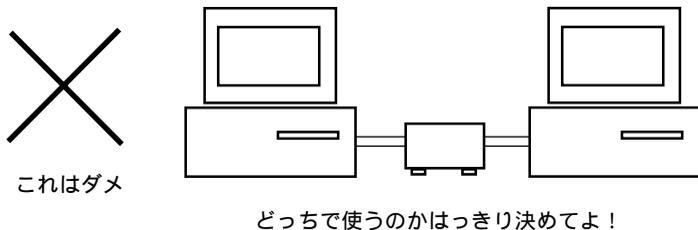
また、ツリー型の場合、IEEE1394 機器間で経由できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。例えば下図の「機器 A」と「機器 B」の間には 3 本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも 16 本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってはけません。



また、接続の中にパソコン本体が 2 台以上あってはいけません。



4 . 4 その他

プレマスタについて

「プレマスタ」とは量産CD-ROM作成の際に、量産メーカーに持ち込むCD-Rメディアのことです。本製品で書き込んだCD-Rメディアをプレマスタとして使用したい場合は、事前に量産メーカーと相談して、本製品で書き込んだCD-Rメディアが、量産メーカーの持つカッティングマシンに適合しているかを確認してください。

このとき、ポイントは本製品が「PLEXTOR」(プレクスタ)のドライブを使用したCD-R/RWユニットである点と、「Disc at once」(ディスクアットワンス)方式で書き込みが可能である点です。



ご注意

- ・「プレマスタ」作成時には、必ずライティングソフトウェア上でBURN-Proof機能をOFFにしてから書き込みを行ってください。
- ・「プレマスタ」の用途には必ずCD-Rメディアをご使用ください。CD-RWメディアはカッティングマシンで読み取れない場合があります。

CD-RWメディアの読み取り互換性について

旧タイプの読み取り装置ではCD-RWメディアが読めない場合があります。弊社(ロジテック株式会社)製品のうち、以下の機種ではCD-RWメディアを読み取ることができませんのでご注意ください。

- ・20倍速以下のCD-ROMユニット
- ・LCD-Z40AK
- ・CD-ROM 6倍速以下のPD/CD-ROMユニット
- ・LCW-7**、LCW-D7**、LCW-M7**で始まるCD-Rユニット
- ・LCW-8**、LCW-D8**で始まるCD-Rユニット
- ・LCW-1000



ご注意

他メーカーのCD-ROMドライブ、パソコン内蔵のCD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応しているかどうかについては、各ドライブメーカー、またはパソコンメーカーにお問い合わせください。

ハードウェア仕様

機種名		LCW-P1210BF	
使用可能なメディア		CD-Rメディア (63分/74分/80分) CD-RWメディア (74分)	
ドライブメーカー		PLEXTOR	
アクセス 速度	CD-Rへの書き込み	12倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 標準速	
	CD-RWへの書き込み	10倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 2倍速	
	読み込み *1	最大32倍速 / 標準速	
記録方式		Track at once方式 / Disc at once方式 Session at once方式 / Packet write方式	
BURN-Proof機能		あり	
ローディング方式		トレイ方式	
バッファメモリ		2MB	
インターフェース		IEEE1394-1995 P1394a	
コネクタ		IEEE1394コネクタ (6ピン) × 2	
環境条件 *2	動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	10% ~ 80%
	保管時	温度	-10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90%
入力電圧		AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力 (定格)		14W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		200 × 60 × 250mm	
質量		2.8kg	
設置方向		水平	

*1 CD-RWメディアの読み込みは最大24倍速に制限されます。また、Mac OSではCD-ROMの読み込みを行うことはできません。

*2 ただし、結露なきこと。

ソフトウェアに関する お問い合わせについて

本製品付属ソフトウェアに関するお問い合わせは下記にお願いします。

WinCDR、MacCDR、およびパッケージソフトウェアに関しては、株式会社アプリックスにお問い合わせください。（お問い合わせ先についてはWinCDR、MacCDRのマニュアルをご参照ください。）

「LogitecWare」CD-ROMに保存されたソフトウェアに関しては、それぞれのソフトウェアの補足説明ファイル等をご参照ください。



<http://www.logitech.co.jp/>